

2020年2月期 第1四半期決算 補足資料

2019年7月12日

自動車流通の変革に挑む
株式会社 IDOM

	2019年2月期 3月-5月	2020年2月期 3月-5月
個別 売上総利益	122.3億円	142.7億円
販管費	120.3億円	127.8億円
営業利益	1.9億円	14.8億円
.....		
連結 営業利益	3.7億円	15.1億円

主な増益・減益要因

2019年2月期
3月-5月

2020年2月期
3月-5月

連結

営業利益

3.7億円



15.1億円

[個別]

● 小売(前期商品設計変更の影響から)

(1) 台当たり粗利回復

(2) 既存店1店舗当たり小売台数回復

業績への影響
(前期比)



[連結]

● 豪州子会社

(1) Essendon新規連結

(2) 統括会社の新規事業等の費用



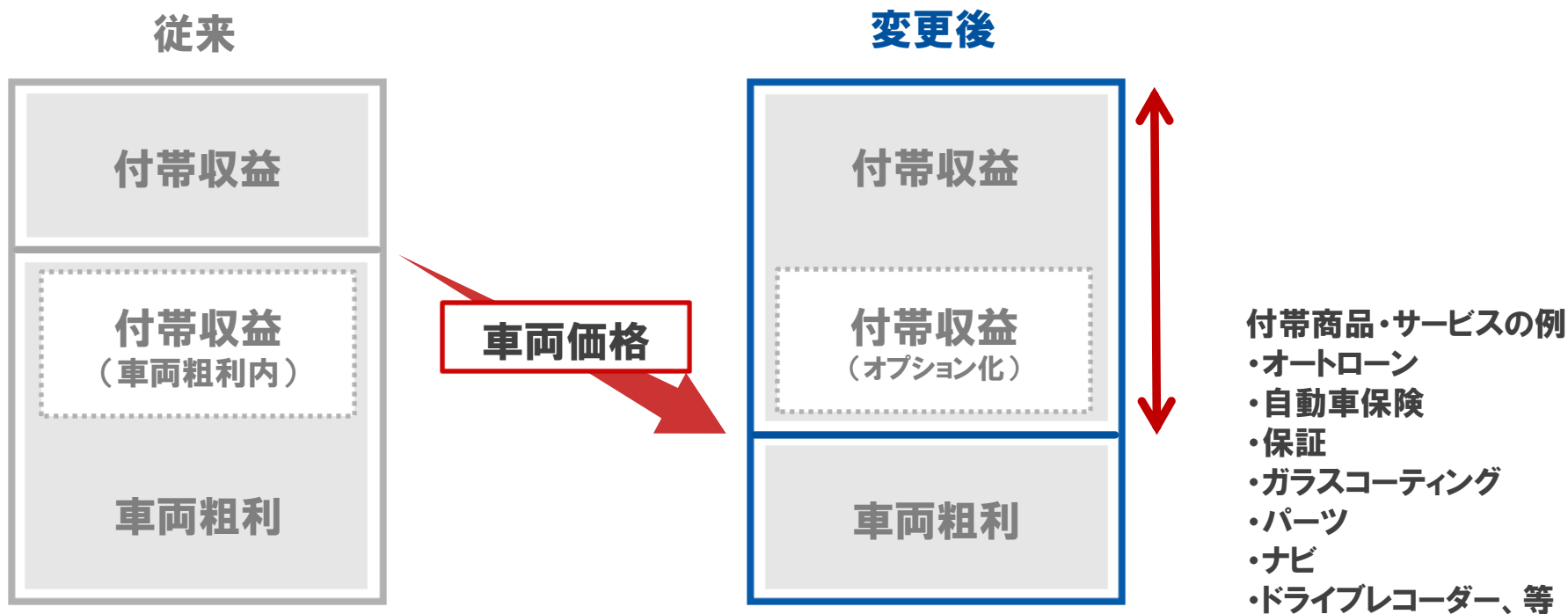
[連結・個別] 損益計算書(第1四半期)

連結	2017年2月期 第1四半期		2018年2月期 第1四半期		2019年2月期 第1四半期		2020年2月期 第1四半期			
	実績 (百万円)	構成比 (%)	実績 (百万円)	構成比 (%)	実績 (百万円)	構成比 (%)	実績 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	前期比 (%)
売上高	66,192	100.0	71,130	100.0	71,411	100.0	90,206	100.0	18,795	26.3
売上原価	51,184	77.3	55,041	77.4	56,104	78.6	72,521	80.4	16,417	29.3
売上総利益	15,007	22.7	16,088	22.6	15,306	21.4	17,685	19.6	2,379	15.5
販売費及び一般管理費	13,761	20.8	14,845	20.9	14,927	20.9	16,174	17.9	1,247	8.4
営業利益	1,245	1.9	1,243	1.7	378	0.5	1,510	1.7	1,132	298.6
経常利益	1,173	1.8	903	1.3	103	0.1	959	1.1	856	826.0
税金等調整前四半期純利益	1,050	1.6	802	1.1	△59	△0.1	736	0.8	795	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	732	1.1	457	0.6	457	△0.2	447	0.5	593	-

個別	2017年2月期 第1四半期		2018年2月期 第1四半期		2019年2月期 第1四半期		2020年2月期 第1四半期			
	実績 (百万円)	構成比 (%)	実績 (百万円)	構成比 (%)	実績 (百万円)	構成比 (%)	実績 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	前期比 (%)
売上高	51,275	100.0	57,444	100.0	55,588	100.0	65,333	100.0	9,745	17.5
売上原価	38,868	75.8	43,770	76.2	43,353	78.0	51,060	78.2	7,707	17.8
売上総利益	12,407	24.2	13,673	23.8	12,234	22.0	14,273	21.8	2,039	16.7
販売費及び一般管理費	11,204	21.9	12,269	21.4	12,038	21.7	12,784	19.6	746	6.2
営業利益	1,202	2.3	1,404	2.4	195	0.4	1,488	2.3	1,293	661.2
経常利益	1,175	2.3	1,242	2.2	84	0.2	1,160	1.8	1,076	1266.7
税引前四半期純利益	1,057	2.1	1,150	2.0	△122	△0.2	933	1.4	1,055	-
四半期純利益	798	1.6	733	1.3	733	△0.3	588	0.9	751	-

前期実施した商品設計変更の内容

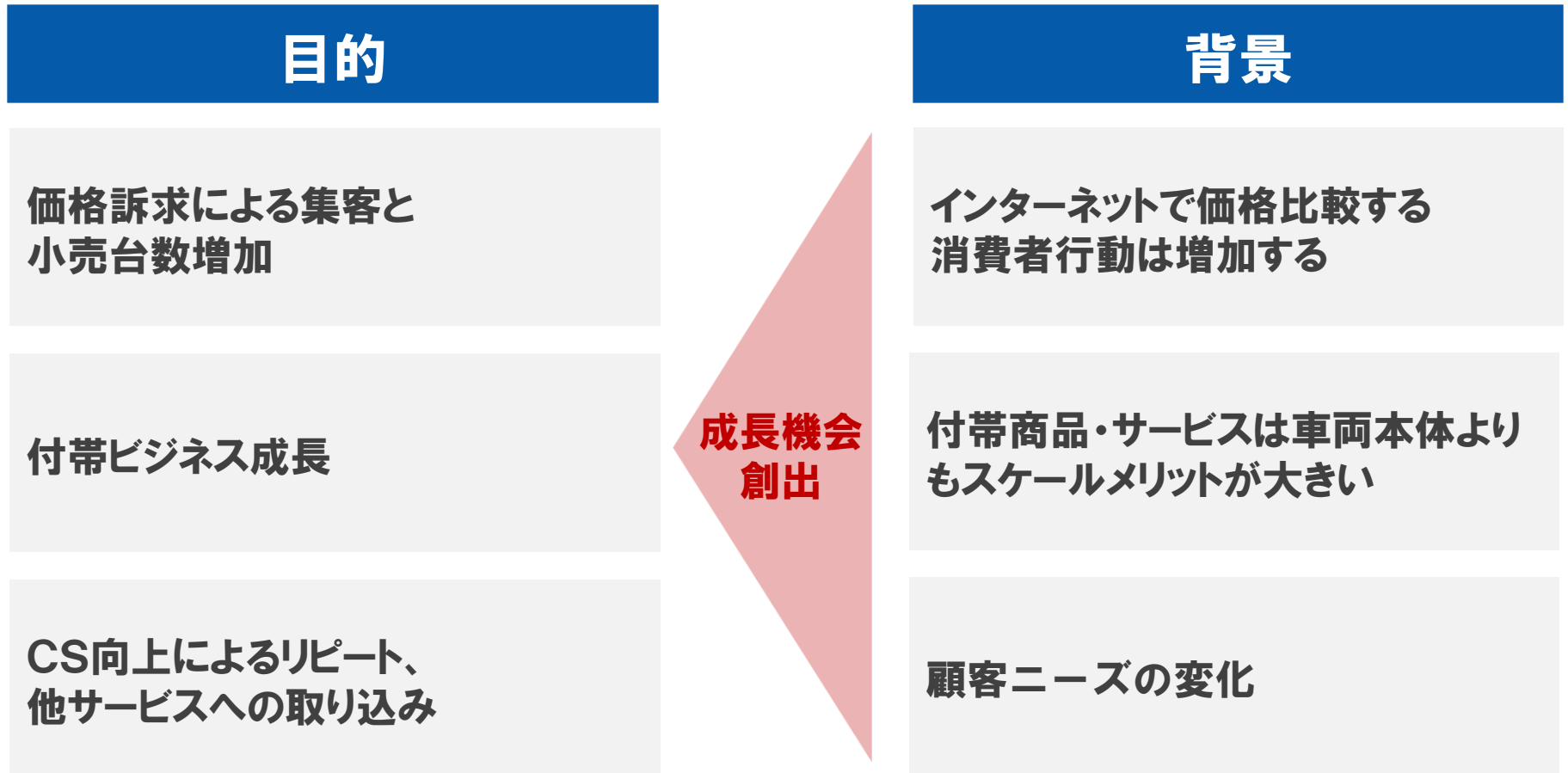
- 台あたり小売粗利(車両粗利+付帯収益)の設計を変更



変更の目的：(1)価格訴求による集客力増→小売台数の増加、(2)付帯ビジネス成長→スケールメリットの享受(3)顧客ニーズに合わせた商品・サービスの提供、価格透明性の向上→顧客満足度の向上。

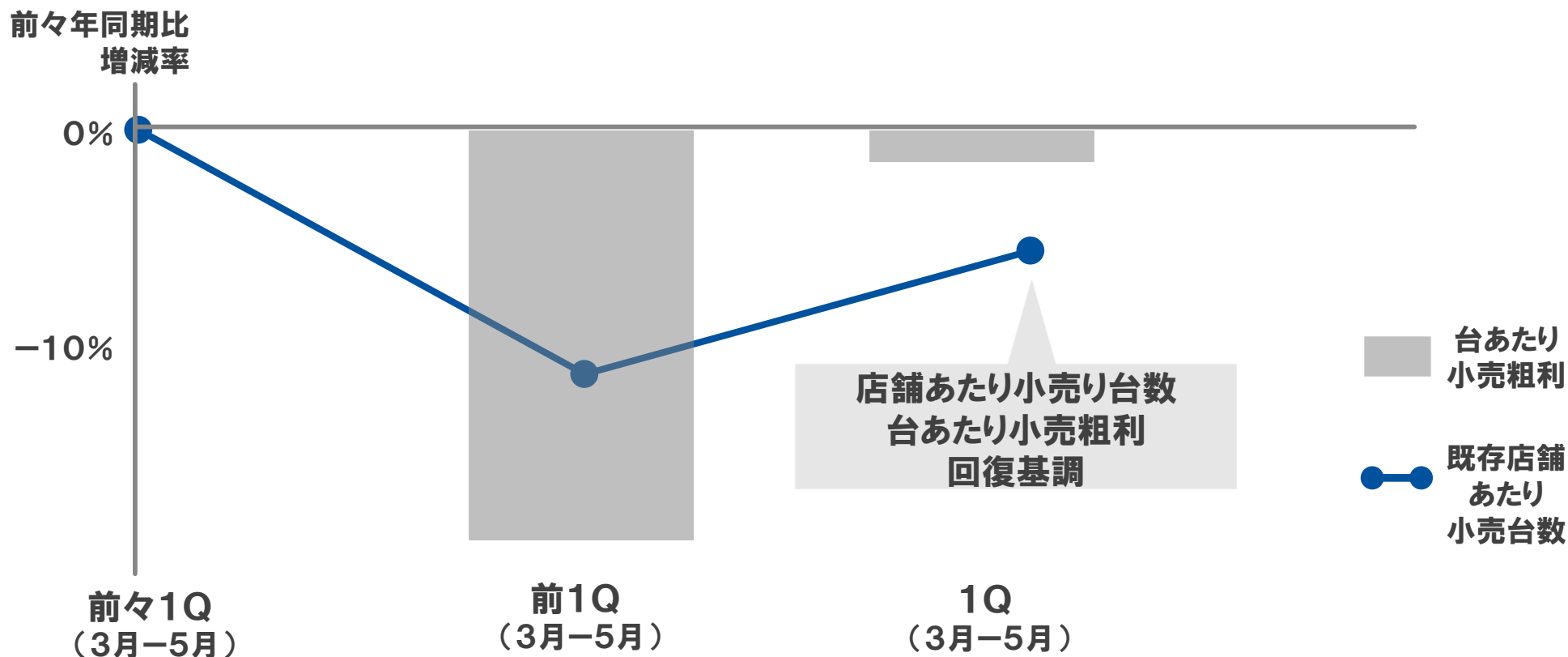
前期実施した商品設計変更の背景と目的

- 将来の成長のため、今後も改善策を順次実行し、目的を達成していく



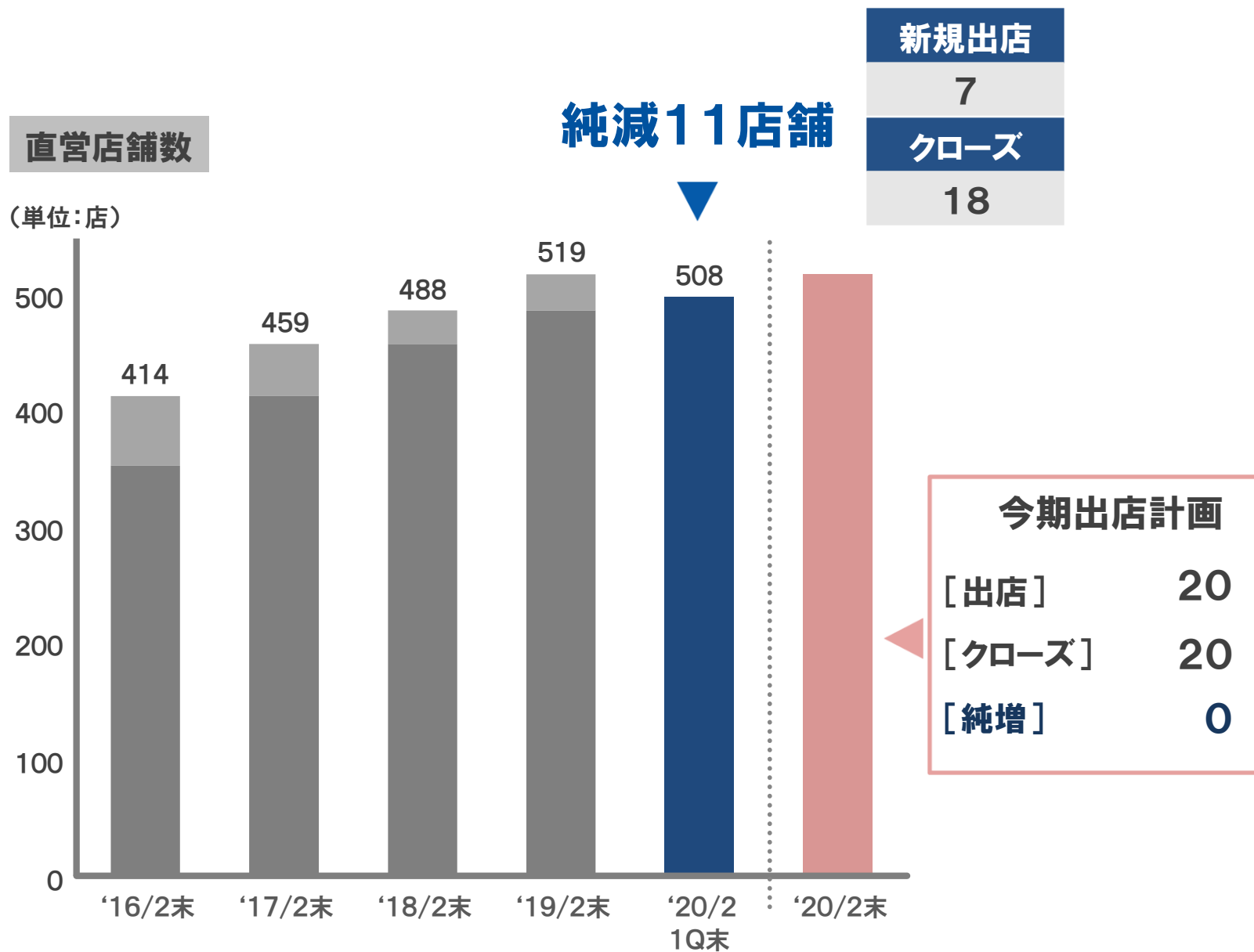
当期の状況（商品設計変更の影響）

- 前期の商品設計変更の影響により、小売台数、粗利が減少したものの、改善策を実行した結果、店舗あたり小売台数、台あたり粗利共に回復基調



改善策：（1）提案力強化→標準化ツールを整備、（2）商品設計の細分化→価格帯、エリアに合わせた設計、（3）付帯商品ラインナップの拡充→高粗利付帯商品の拡充

新規出店の進捗



新規出店(3月-5月)



熊本インター
熊本県熊本市



広島吉島
広島県広島市



久留米みやき
佐賀県三養基郡



和歌山バイパス
和歌山県和歌山市



今治
愛媛県今治市



島原
長崎県島原市



Gulliver
OUTLET

OL西那須野
栃木県那須塩原市



LIBERALA
powered by Gulliver

(業態変更店舗)

リベラーラ盛岡
岩手県盛岡市



リベラーラ入間
埼玉県入間市



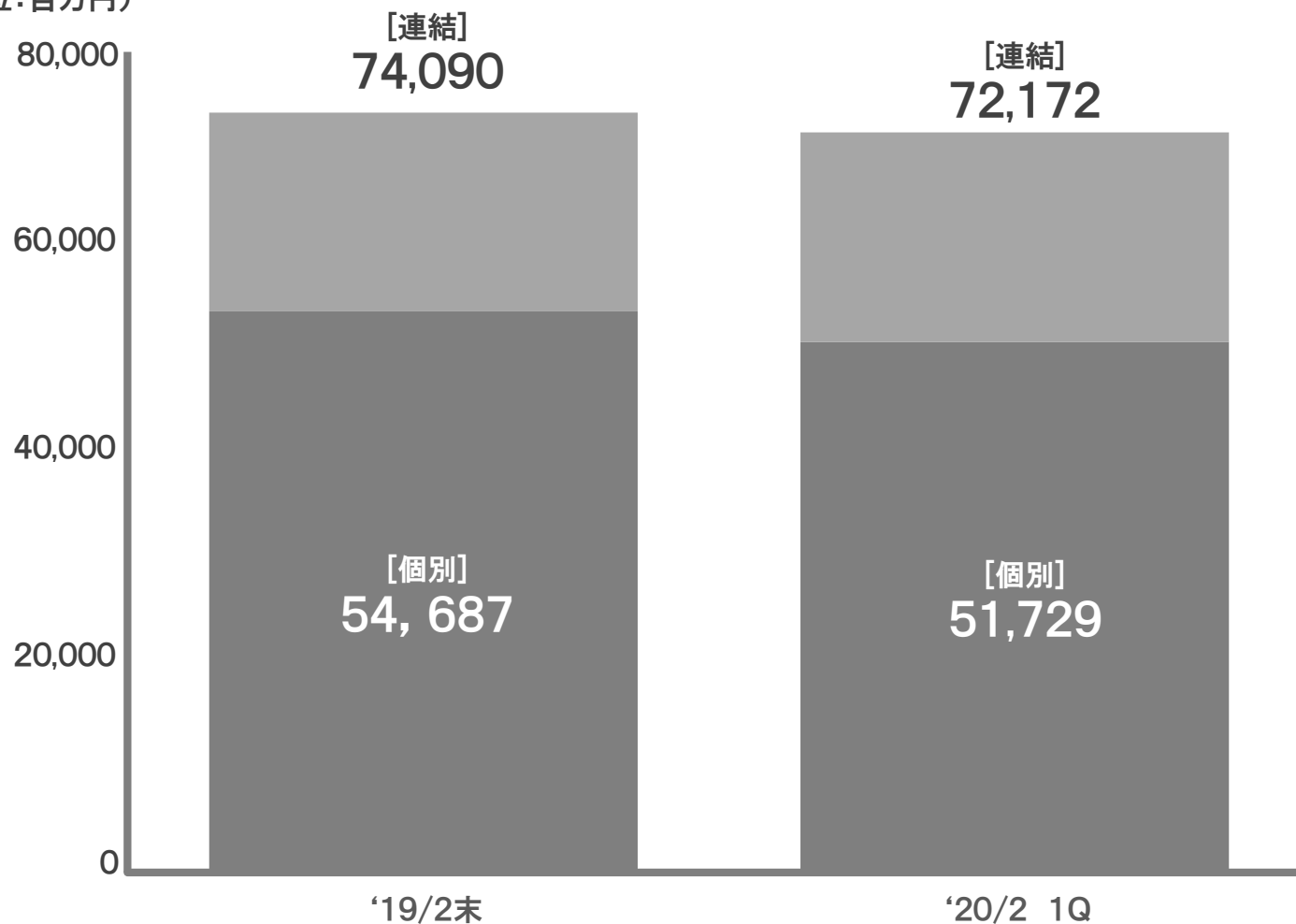
リベラーラ甲府
山梨県甲府市



- **[個別] 在庫管理を強化し、在庫は減少傾向**

商品（連結・個別）

（単位：百万円）



[連結] 貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度末 (2019年2月28日)	当第1四半期末 (2019年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,049	34,591
受取手形及び売掛金	6,774	5,646
商品	74,090	72,172
繰延税金資産	1,076	0
その他	9,043	4,590
貸倒引当金	△93	△113
流動資産合計	112,865	116,888
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	36,130	36,456
減価償却累計額	△13,141	△13,263
建物及び構築物(純額)	22,988	23,193
車両運搬具	167	171
減価償却累計額	△29	△33
車両運搬具(純額)	137	138
工具、器具及び備品	4,333	4,293
減価償却累計額	△3,481	△3,486
工具、器具及び備品(純額)	852	806
土地	218	218
建設仮勘定	541	322
有形固定資産合計	24,738	24,679
無形固定資産		
ソフトウェア	2,797	2,824
のれん	13,832	13,054
その他	3,301	3,095
無形固定資産合計	19,931	18,975
投資その他の資産		
投資有価証券	191	184
関係会社株式	2,261	2,261
長期貸付金	38	180
敷金及び保証金	6,083	6,061
建設協力金	5,753	5,687
繰延税金資産	1,438	1,833
その他	741	721
貸倒引当金	△116	△116
投資その他の資産合計	16,392	16,812
固定資産合計	61,062	60,467
資産合計	173,927	177,355

	前連結会計年度末 (2019年2月28日)	当第1四半期末 (2019年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	20,026	18,261
短期借入金	9,031	981
未払金	3,809	3,941
1年内返済予定の長期借入金	12,000	12,000
未払法人税等	312	363
前受金	11,177	11,254
預り金	249	353
賞与引当金	820	101
商品保証引当金	562	616
その他の引当金	507	520
その他	2,148	5,051
流動負債合計	60,642	53,446
固定負債		
長期借入金	68,023	79,365
長期預り保証金	432	417
資産除去債務	2,279	2,320
繰延税金負債	1,363	1,350
その他の引当金	561	572
その他	191	227
固定負債合計	72,852	84,253
負債合計	133,494	137,699
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,157	4,157
資本剰余金	4,032	4,032
利益剰余金	35,842	35,766
自己株式	△3,947	△3,947
株主資本合計	40,084	40,008
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	243	△793
その他の包括利益累計額合計	243	△793
新株予約権	3	3
非支配株主持分	588	437
純資産合計	40,432	39,656
負債純資産合計	173,927	177,355

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。